

令和4年度沖縄県県民の森に係る指定管理者制度運用委員会について

(令和3年度指定管理者制度モニタリング検証結果)

- 1 開催日時： 令和4年7月28日(木) 9:00～11:30
- 2 開催場所： 沖縄県庁9階 第4会議室
- 3 委員の出席状況： 委員4名中 3名出席
(委員) 国立大学法人琉球大学 准教授 木島真志
(委員) はごろもPM パートナース 所長 大城 肇
(委員) 沖縄科学技術大学院大学 沖縄環境研究支援セクションリサーチサポートリーダー 吉村 正志
- 4 検証事項： 「沖縄県県民の森」の令和3年度実績に基づくモニタリング結果の検証について
- 5 検証内容
(1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適正になされているか
(2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
(3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
- 6 検証方法
(1) 事務局(森林管理課)によるモニタリング実施結果の報告
(2) 質疑・意見(各委員からの質疑等に対し、事務局及び指定管理者から回答)
- 7 質問事項・意見等
(1) 利用状況についてC評価となっているが、4～10月まで新型コロナの影響で利用制限があるのであれば、そのような期間における目標値は事業計画の見直しを行った上で、修正すべきではないか。
(2) サービスの質について、S評価が多くなっているが、利用者が少ない場合、満足度が上がっている可能性がある。また、アンケート回収数自体が少ないことから、評価が良い方に偏っている可能性がある。
(3) キャンプ宿泊者は、閉園時間後、各ゲートが施錠され園外へ出られなくなることから、食品が購入できる自動販売機の設置について検討してはどうか。
(4) 2つの施設がリニューアルオープンし、また、ソフト面を充実させることにより、特徴的な施設と成り得ることから、今後、利用者及び事業収入等について、総合的に考えていく必要がある。
(5) 利用者数について、平成23年度から平成27年度にかけて徐々に増加しており、また、平成27年度からは徐々に減少していることから、増減理由について分析することが必要と考えられる。特にコロナ収束後において施設利用者数の増加を目指す上で、増加要因の分析は大事である。
(6) リニューアルオープンする施設については、今後、数年毎に修繕が必要となることから、計画的に維持管理を行う必要がある。
(7) 利用者数の増加につなげるには、新規の利用者増加に目を向ける必要がある。そのため、県民の森はリゾートホテル近くであることから、県民だけでなく県外や外国の観

光客をターゲットにすることで、利用者数の増加につながれると考える。また、やんばるの森のオーバーツーリズムの緩和に繋がる可能性がある。併せて、今後県民の森の目指す方向性やコンセプトは何なのかを改めて考え直す必要がある。

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県民の森	対象年度	令和3年度
------	--------	------	-------

【 目 次 】

I.	履行確認	
1.	維持管理業務	1
	(1) 清掃	
	(2) 保守・点検	
	(3) 保安・警備	
	(4) 小規模修繕	
	(5) 備品購入	
	(6) 防犯・防災対策	
	(7) 料金徴収業務	
	(8) 植栽管理	
2.	運営業務	5
	(1) 利用実績	
	1) 利用者数等（又は入居率等）	
	2) 施設稼働率	
	3) 教室・イベント等参加者数	
	(2) 運営企画	
	(3) 受付・接客	
	(4) 広報	
	(5) 情報管理	
3.	自主事業	10
II.	サービスの質の評価	11
	1. 維持管理・運営業務	
	2. 自主事業	
	3. 総合評価	
III.	サービスの安定性評価（財務状況）	13
	1. 事業収支	
	(1) 収入	
	(2) 支出	
	2. 経営分析指標	
IV.	総合評価	15
	1. 目標	
	2. 評価結果	

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県民の森	対象年度	令和3年度
指定管理者	沖縄北部森林組合 指定期間:平成30年4月～令和5年3月	所管課	農林水産部 森林管理課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉 ・園内の利用頻度の多い場所を巡回し、紙くず、空き缶等の不法投棄物を速やかに除去する。 ・トイレは1日3回以上巡回点検し清潔な環境を保つように努める。	○		・休園日を除き2名の清掃員が実施。 ・建物内のトイレについては各施設担当者による清掃を実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に実施。	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 園内の美化を保つため、適正に対応している。 【課題】 特になし
〈定期清掃〉 ・園内の清掃については、巡回による清掃と定期的に行う清掃により衛生的な環境を保持するとともに、美観の保持に努める。	○		・定期的に側溝等の枯れ葉除去等を清掃員及び作業員により実施。			

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
貯水槽清掃及び検査 1回/年		○	貯水槽清掃及び簡易水質検査を実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 キャンプ場内高架水槽の水切りバルブ(ゲートバブル)の固着がみられたため、交換を行った。 【課題】 特になし
浄化槽維持管理 2回/月		○	専門業者に委託し、法定点検を行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし
ガス点検 適宜		○	業者の定期検針点検及び職員による点検を日常的に行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし
消防用設備点検 2回/年		○	消防用設備点検について、専門業者に委託し、法定点検を行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
電気保安業務 1回/月		○	専門業者に委託し、法定点検を行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし
施設における機械警備 通年		○	警備専門業者に委託し、機械警備を実施した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし
夜間（常駐）警備		○	キャンプ場の宿泊利用期間中における夜間警備を専門業者に委託し、適切な防犯対策を行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
修繕費 500,000円		○	基本協定第19条に基づき、施設・設備等の小規模修繕（目安：1件修繕30万円未満）については適切に行った。 実績： 1,061,372円	事業報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。経年劣化が著しい施設が多くなっており、指定管理者の負担が増えているため、県で予算を確保し、指定管理者と連携しながら修繕を実施した。	金額の大きな修繕については県で実施したが、実績額が事業計画額を上回っている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 修繕の必要な箇所が多いため、事業計画額よりも実績額が多くなっている。優先度の高い箇所から計画的に修繕を実施していく。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
備品購入費 0円		○	実施なし	実施なし	—	—

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>公園利用者及び職員の安全管理、施設の適正な維持、園内の秩序を図る。</p> <p>・連絡体制を図示し張り出す ・危険箇所に立て札等を設置する ・焚き火を禁止する ・消火器等を点検する ・農薬、燃料を適正に保管する 等</p>	○		<p>危機管理マニュアルに基づき、適切に運用した。</p> <p>・連絡体制図を各窓口に掲示した ・危険箇所に立て札等を設置した ・消火器等を点検した ・備品等は、定期的に数量や状態の確認を行い、所定の場所で適切に管理した。 ・防火管理者を選定し、消防計画に基づく消火、通報及び避難訓練を実施した。</p>	<p>報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。</p>	<p>事業計画のとおり実施されている。</p>	<p>【現状分析】 実態にあわせてマニュアルや管理体制の見直しが行われている。</p> <p>【課題】 特になし</p>

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>料金徴収フローチャートを作成し、経理係を設け、売上金額の照合を毎日行う。金庫を設置し、入場者の申込書、売上金、釣銭の管理を行う。金銭は北部森林組合事務所(名護市)へ運び金庫で管理する。</p>	○		<p>・料金徴収フロー図を作成し、各施設に備え付けて適切に対応した。</p>	<p>報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。多言語対応版(英・中・台・韓)の料金表を含むパンフレットを受付で配布している。</p>	<p>事業計画のとおり実施されている。</p>	<p>【現状分析】 実態にあわせてフロー図や管理体制の作成が行われている。</p> <p>【課題】 特になし</p>

(8) 植栽管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>統括責任者は、作業員に対して作業箇所や作業方法等を十分に説明し、作業にあたらせる。また、機械類は、始業点検・整備を確実にし、作業効率の向上のほか、危険防止に努める。なお、作業を行う上で発生した剪定枝等は処理業者に委託するなど法令に従い適切に処理する。</p>	○		<p>・公園管理責任者及び作業員4名により仕様書を基準にし、必要に応じて適宜実施。</p>	<p>報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。特に問題なし</p>	<p>事業計画のとおり実施されている。</p>	<p>【現状分析】 適正に実施されている。</p> <p>【課題】 特になし</p>

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加・削除して記入して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

1. 維持管理業務 取組改善案	○開園から30年が経過し施設の老朽化が著しい県民の森においては、今後の公園のあり方等を見直した上で、「沖縄県公共施設等総合管理計画」に基づき令和元年度に施設の個別施設計画を策定した。今後は計画に基づき施設の長寿命化を図り、適切に管理していく。 ○大規模な修繕については、修繕料を県で予算化し、積極的に修繕を行っていく。
--------------------	--

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		R2年実績	事業計画 (目標値)	R3年実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
利用者数	個人利用者数	85,354	126,235	85,761	100.5	67.9	<p>【現状分析】 4月～10月まで新型コロナウイルス感染拡大による利用制限等の影響もあったが、11月から施設利用及び備品貸出制限の緩和により、利用者数は前年度より微増。</p> <p>【課題】 新型コロナウイルス収束後の来園者増加を目指し、積極的な広報活動が必要である。</p>
	団体利用者数	2,804	10,068	3,979	141.9	39.5	
	教室・イベント 参加者数	75	5,481	0	0.0	0.0	<p>【現状分析】 計画していたイベントが新型コロナウイルスの影響で全て中止となった。</p> <p>【課題】 新型コロナウイルス感染防止対策をした上でのイベント開催を検討する。イベント告知などで集客数の増加が必要である。</p>
計		88,233	141,784	89,740	101.7	63.3	<p>【現状分析】 春夏に休園等の影響はあったものの、11月以降は、キャンプ場等の利用制限の緩和があったため昨年度より利用者が微増。</p> <p>【課題】 新型コロナウイルス感染収束後の来場者数増加のため積極的な広報活動が必要である。</p>

評価(①利用状況)

C

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

2) 施設稼働率

① 稼働日数

日数	R2年度実績	事業計画 (目標値)	R3年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題	
				前年比	計画比		
①平日稼働率	シャワー室	59日	44日	63日	107%	143%	<p>【現状分析】 研修室はリニューアル中であるため稼働はなかった。その他の施設は、休園等の影響から前年度と比べて、稼働日はほとんど増加しなかった。</p> <p>【課題】 施設の稼働率が低調であるため稼働率向上の工夫が必要である。</p>
	キャンプ場	101日	96日	95日	94%	99%	
	パークゴルフ場	20日	40日	30日	150%	75%	
	グラウンドゴルフ場 (スポーツ広場)	4日	13日	2日	50%	15%	
	中央広場	21日	41日	21日	100%	51%	
	研修室 (森林学習展示館内)	0日	0日	0日			
②土日祝日稼働率	シャワー室	56日	59日	56日	100%	95%	<p>【現状分析】 春・夏のハイシーズンに休園等となり、キャンプ場の稼働率は低く、キャンプ場以外のすべての施設で前年度の稼働率と同程度であった。</p> <p>【課題】 屋外施設の稼働率は天候により左右されるため、計画どおりとはいかないが、稼働率を上げる努力を続ける必要がある。</p>
	キャンプ場	82日	87日	70日	85%	80%	
	パークゴルフ場	59日	71日	60日	102%	85%	
	グラウンドゴルフ場 (スポーツ広場)	3日	14日	3日	100%	21%	
	中央広場	14日	29日	16日	114%	55%	
	研修室 (森林学習展示館内)	0日	0日	0日			
①②合計	シャワー室	115日	103日	119日	103%	116%	
	キャンプ場	183日	183日	165日	90%	90%	
	パークゴルフ場	79日	111日	90日	114%	81%	
	グラウンドゴルフ場 (スポーツ広場)	7日	27日	5日	71%	19%	
	中央広場	35日	70日	37日	106%	53%	
	研修室 (森林学習展示館内)	0日	0日	0日			
計					97%	72%	

② 稼働回数

回数		R2年度実績	貸出可能数	R3年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	稼働率	
①平日稼働率	シャワー室	380回	516回	298回	78%	58%	<p>【現状分析】</p> <p>キャンプ場は、春・夏は新型コロナウイルス感染防止のため貸出区画及び人数を制限したが、冬キャンプの時期には制限緩和を行ったため、増加した。その他の施設も感染状況に応じて利用制限の緩和を行ったが、前年度と同程度であった。特にグラウンドゴルフについては昨年度よりも稼働回数が少なく、数回のみ稼働であった。</p> <p>【課題】</p> <p>新型コロナウイルス流行状況を注視し、園内感染防止対策を行っていく必要がある。また、稼働回数が低い施設は、利用向上の工夫が必要。</p>
	キャンプ場	419回	13,932回	575回	137%	4%	
	パークゴルフ場	20回	129回	30回	150%	23%	
	グラウンドゴルフ場 (スポーツ広場)	4回	129回	2回	50%	2%	
	中央広場	21回	129回	21回	100%	16%	
	研修室 (森林学習展示館内)	0回	0回	0回		0%	
②土日祝日稼働率	シャワー室	1,164回	320回	848回	73%	265%	<p>【現状分析】</p> <p>キャンプ場の休日稼働率は昨年度より向上しているがそれ以外の稼働率が同程度であった。特にグラウンドゴルフについては年に数回のみ稼働であった。</p> <p>【課題】</p> <p>新型コロナウイルス流行状況を注視し、園内感染防止対策を行って行く必要がある。</p>
	キャンプ場	1,080回	8,640回	1,432回	133%	17%	
	パークゴルフ場	59回	80回	60回	102%	75%	
	グラウンドゴルフ場 (スポーツ広場)	3回	80回	3回	100%	4%	
	中央広場	14回	80回	16回	114%	20%	
	研修室 (森林学習展示館内)	0回	0回	0回		0%	
①②合計	シャワー室	1,544回	836回	1,146回	74%	137%	
	キャンプ場	1,499回	22,572回	2,007回	134%	9%	
	パークゴルフ場	79回	209回	90回	114%	43%	
	グラウンドゴルフ場 (スポーツ広場)	7回	209回	5回	71%	2%	
	中央広場	35回	209回	37回	106%	18%	
	研修室 (森林学習展示館内)	0回	0回	0回		0%	
計					100%	42%	

3) 教室・イベント等参加者実績

	内容	R2年実績	事業計画 (目標値)	R3年実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
教室	国産材利用拡大活動 (自然観察会)	9月19日 (土), 26日 (土) 【19人】	—	中止	—	—	【現状分析】 新型コロナ感染防止のため、当初計画していた体験教室の全てが実施できなくなった。 【課題】 新型コロナ流行状況を考慮しつつ人数制限等を行った上で可能な教室は実施する。
	国産材利用拡大活動 (炭焼体験)	11月7日(土) 【27人】	—	中止	—	—	
	国産材利用拡大活動 (植樹体験)	12月12日(土) 【16人】	—	中止	—	—	
	JLクラブ初級研修	3月25日(木) 【32人】	—	中止	—	—	
イベント	きずな駅伝大会	中止	12月第2土曜日 【3区間3名50組・ 5区間5名50組】	中止	—	—	【現状分析】 きずな駅伝及び日曜日 は新型コロナの影響により全て中止。 【課題】 再開する場合は感染対策の徹底が必要となる。
	軽トラ日曜日	【日時, 店舗数】 4, 5月中止 6/16, 1店 7/21, 0店のため中止 8~3月中止 年1回開催	毎月第3日曜 ※H30. 5月から年 11回開催	【日時, 店舗数】 全て中止	—	—	
計					—	—	

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開園日数〉 県民の森の休園日は、沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第8条の規定によることとする。	沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第8条の規定のとおり実施した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 事業計画どおり実施した。 【課題】 特になし
〈開園時間〉 県民の森の開園時間は、沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第9条の規定によることとする。	沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第9条の規定のとおり実施した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 事業計画どおり実施した。 【課題】 特になし

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
・入園者に対し、パンフレット等の配布と各施設の利用案内を行う。 ・用具の使用方法を説明し、指導する。 ・学習展示館及び科学館はリニューアル工事により休館	○		・事業計画に基づき各施設担当者により実施。	・施設利用案内等は概ね適切に行われている。	・計画どおりに実施した。	【現状分析】 新型コロナウイルス感染症の影響により消毒作業を行っている。 【課題】 新型コロナウイルス感染症の長期化により、感染リスクを避ける行動を呼びかけていく必要がある。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
・印刷製本費 (リーフレット発注費等) 100,000円 ・広告費(新聞広告、看板等) 26,000円 計126,000円	○		・イベントの中止により計画した広報活動ができなかった。	・ホームページ上にアンケートへのリンクやパンフレットのデータを掲載している。	・事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 新型コロナの影響でイベントが中止になり、広報活動が困難であったが、HP上にアンケートへのリンク・パンフレット等を掲載している。 【課題】 イベント告知や園内の有用な情報を積極的にHPで行う必要がある。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報の保護に関する法律及び条例に基づき、必要な措置を行う。	○		個人情報の保護に関して職員に周知し、適切に管理を行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 事業計画どおり実施した。 【課題】 特になし

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
自動販売機の設置 収入 200,000円	○		収入270,676円	報告書、現場写真 及び現場視察時に 随時実施確認。	事業計画より収 入実績が増額し ている。	【現状分析】 事業計画より収入実績が増加してい る。 【課題】 特になし
備品貸出収入 600,000円	○		備品貸出し 収入542,080円	報告書、現場写真 及び現場視察時に 随時実施確認。 特に問題なし	事業計画より収 入実績が減額し ている。	【現状分析】 計画より実績が下回った。 【課題】 感染対策しつつ貸出備品の宣伝を積極 的に行い収入増を目指す。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 運營業務 3. 自主事業 取組改善案	○利用者は施設利用制限の緩和により回復しつつある。新型コロナで全ての体験教室やイベントが中止となった。感染収束後は積極的な広報活動を実施し、人の呼び戻しを行う必要がある。
-----------------------------	---

※「2. 運營業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

Ⅱ. サービスの質の評価

※ 項目毎に有効回答を分母に割合を算出した。

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題
	R2年評価	R3年目標	R3年評価		
維持管理・運営業務 施設・設備の整備状況	〈満足度〉88% 評価：A ・とても良い 57% ・良い31% ・普通12% ・やや悪い0% ・悪い0%	〈満足度〉80%以上 評価：A	〈満足度〉93% ・とても良い 53% ・良い 40% ・普通 2% ・やや悪い 5% ・悪い 0%	S	<p>・パークゴルフ場のスタートティのぐらつきについては、即時改善したが、トイレの中継ポンプの故障により修繕が遅れ利用者には迷惑をかけた。</p> <p>・登山コースの階段の高い3箇所については、土嚢袋で改善した。</p> <p>・雷による水道ポンプ不具合及び電話機の不具合は、利用者に迷惑を掛けずに対応できた。</p> <p>・その他大がかりな修繕を要する箇所については、県に報告及び要望した。</p>
			<p>〈改善要望〉</p> <p>・パークゴルフ場のトイレを直してほしい。トイレが遠いと団体での利用が難しい。</p> <p>・冒険広場の遊歩道に陥没している箇所があり、捻挫したので、陥没箇所を直してほしい。</p>		
接客対応	〈満足度〉86% 評価：A ・とても良い 52% ・良い34% ・普通9% ・やや悪い5% ・悪い0%	〈満足度〉80%以上 評価：A	〈満足度〉98% ・とても良い 60% ・良い 38% ・普通 2% ・やや悪い 0% ・悪い 0%	S	<p>・HPの変更により分かり易くなり、電話での予約対応も説明しやすく良かった。また、パンフレットは日本語版が減るのが早くコピーで対応した。</p>
			<p>〈改善要望〉</p> <p>・特になし。</p>		
施設の管理について	〈満足度〉82% 評価：A ・とても良い 46% ・良い36% ・普通14% ・やや悪い4% ・悪い0%	〈満足度〉80%以上 評価：A	〈満足度〉90% ・とても良い 52% ・良い 38% ・普通 3% ・やや悪い 5% ・悪い 2%	S	<p>・広場及び園内道路等の維持管理については、適宜実施した。</p> <p>・キャンプ場の樹木立ち枯れによる利用者への被害対策を実施しながら県で処理対応ができた。また、残りの処理もあり早急な対応をお願いしたい。</p> <p>・トイレの維持管理については、除菌等含め適切に実施した。</p>
			<p>〈改善要望〉</p> <p>・特になし。</p>		
再訪意向	〈満足度〉96% 評価：S ・是非したい 61% ・機会があれば 35% ・どちらでもない 2% ・どちらかと言えばしたくない 0% ・利用したくない 4%	〈満足度〉80%以上 評価：A	〈満足度〉98% ・是非したい 60% ・機会があれば 38% ・どちらでもない 2% ・どちらかと言えばしたくない 0% ・利用したくない 0%	S	<p>・昨年度からキャンプ利用者からの焚き火要望については、引き続き禁止していることを説明していますが、マナーを守らない利用者もいますので、チェックアウトの際に注意喚起をした。今後も要望があるかと思いますが検討要です。山火事になった場合のことを考えると指定管理者では判断しかねます。</p>
			<p>〈改善要望〉</p> <p>・夜のキャンプの騒音を注意してほしい</p> <p>・焚き火OKにしてほしい(複数回答あり)</p> <p>・マナー違反で焚き火をしている人がいる。</p>		

教室・イベント ※自主事業	〈満足度〉－ (アンケートを実施できなかった)	〈満足度〉80%以上 評価：A	〈満足度〉－ (アンケートを実施できなかった)	－	・山の日等のイベントに合わせて、体験教室等はコロナ禍で中止になりました。 ・乗馬体験はコロナ感染状況等踏まえ対策しながら実施した。	【現状分析】 体験教室やイベントが全て中止となり、アンケートが実施できていない。イベント等ができない中、乗馬体験ができるように工夫を行い、実施した。 【課題】 サービスの質の向上のため、新型コロナ収束後の開催した体験教室ではアンケートを実施する。今後も魅力ある教室・イベントが開催できるよう努力する。
	〈改善要望〉 (参加したいメニューについて) ・体験教室 51% ・山の日イベント 17% ・グラウンドゴルフ大会 9% ・さずなの森駅伝 6% ・軽トラ市 11% ・乗馬体験 3% ・将棋教室 3%					
自主事業	〈満足度〉 評価：－ ※アンケート等を実施できなかった。	〈満足度〉80%以上 評価：A	〈満足度〉 ※アンケート等を実施できなかった。	－	・コロナ禍の厳しい状況により自主イベント等は運営委員会に諮り中止としました。	【現状分析】 自主事業によるイベントや教室も中止となったためアンケートを実施できなかった。 【課題】 アンケートの調査方法を検討し、利用者の評価やニーズ等を把握する必要がある。
	〈改善要望〉 ・特になし					
総合評価 (各評価項目の平均)	〈満足度〉88% 評価：A ・とても良い 54% ・良い34% ・普通9% ・やや悪い2% ・悪い1%	〈満足度〉80%以上 評価：A	〈満足度〉95% ・とても良い 56% ・良い 39% ・普通 2% ・やや悪い 3% ・悪い 1%	評価 (②満足度)	・台風等による大きな被害はありませんが、落雷による設備不具合は2回もあり想定外の修繕費増もありましたが対応した。 ・キャンプ場利用者同士の騒音トラブルによる警察を呼ぶなどの案件があり、警備員及び利用者両方から聞き取り今後の利用に際しては注意をした。 ・コロナ感染防止対策はしていますが、従業員及び家族に陽性が分かり数日間休暇をとる状況もあり	【現状分析】 利用者は微増したが、アンケート回収数が減少した。(アンケート回収状況)維持管理等 44件 (R2年度52件、R1年度100件) イベント 0件 (R2年度 0件、R1年度61件) 【課題】 イベントに関するアンケートは小規模であっても極力回収できるようにする。リニューアル中の施設オープン後はアンケートの内容変更が必要となってくる。
	S					

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。
※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

※1:満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段の割合、3段階評価の場合上位の割合)
ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度
S：90%以上
A：80%以上、90%未満
B：70%以上、80%未満
C：70%未満

Ⅱ. サービスの質の評価 取組改善案	○多くの利用者の声を把握し、施設のサービス向上に繋げるため、アンケートの回収率を上げるよう手法を検討する。 ○教室やイベント参加者の満足度は非常に高いため、積極的に自主事業を実施し施設をPRすることで集客に繋げる。
-----------------------	--

※「Ⅱ. サービスの質の評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

Ⅲ. サービスの安定性評価（財務状況）

1. 事業収支

(1) 収入

収入項目		R2年実績	事業計画	R3年実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
利用料金収入	シャワー室	160,700	3,076,000	116,000	72.2	89.1	
	キャンプ場	1,264,125		1,626,825	128.7		
	パークゴルフ場	273,155		406,510	148.8		
	広場	42,000		50,400	120.0		
	研修室	0		0	0.0		
	備品貸出料金	394,210		542,080	137.5		
計		2,134,190	3,076,000	2,741,815	128.5	89.1	
指定管理料		27,543,000	27,543,000	27,543,000	100.0	100.0	
自主事業収入	電気使用料（NTTドコモ）	116,203	123,000	123,752	106.5	100.6	
	自動販売機	285,954	200,000	270,676	94.7	135.3	
	備品貸出料金	234,450	600,000	489,580	208.8	81.6	
	イベント等	0	811,000	0	0.0	0.0	
計		636,607	1,734,000	884,008	138.9	51.0	
合計（A）		30,313,797	32,353,000	31,168,823	102.8	96.3	
<p>【現状分析】 ○11月から施設・備品の利用制限を緩和を緩和したことにより、利用料金収入は計画の約9割を達成している。</p> <p>【課題】 ○コロナ収束後に向けて利用者を増やす広報等を行う。イベント等については引き続き感染状況を注視していく必要がある。</p>							

(2) 支出

支出項目	R2年実績	事業計画	R3年実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項	
人件費	19,728,384	21,125,000	18,961,079	96.1	89.8		
旅費	300	5,000	1,600	533.3	32.0		
修繕費	429,891	500,000	1,061,372	246.9	212.3		
委託業務費	4,640,550	4,774,000	4,792,300	103.3	100.4		
備品購入費	0	0	0	0.0	0.0		
食料費	2,147	10,000	2,436	113.5	24.4		
消耗品費	288,382	172,000	255,152	88.5	148.3		
印刷製本費	70,400	100,000	70,400	100.0	70.4		
役務費	621,869	626,000	657,561	105.7	105.0		
光熱水費	1,846,944	2,500,000	2,644,677	143.2	105.8		
燃料費	399,643	470,000	655,543	164.0	139.5		
使用料及び賃借料	758,760	960,000	757,260	99.8	78.9		
諸経費	249,578	300,000	325,868	130.6	108.6		
自主事業費（イベント）	3,938	811,000	13,600	345.4	1.7		
合計（B）	29,040,786	32,353,000	30,198,848	104.0	93.3		
<p>【現状分析】 ○退職者がいたため、人件費が減少している。 ○森林学習展示館及び森林科学館の改修工事後、電気料金の基本料金が増額したことにより、光熱水費の支出が増えている。 ○老朽化した箇所の修繕が多かったため、修繕費が増額している。</p> <p>【課題】 ○現在、展示物更新中の2施設のリニューアルオープン後は、各施設の運営経費が増加する見込みである。また、必要な修繕や経費の確保を行う必要がある。</p>							

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 経営分析指標

評価指標	R2年実績	事業計画	R3年実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	1,273,011	0	969,975	76.2	0.0	
収益率 (事業収支(C)/収入(A))	4.2%	0.0%	3.1%	74.1	0.0	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	7%	10%	9%	124.9	92.5	
人件費比率 (人件費/支出(B))	68%	65%	63%	92.4	96.2	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	16%	15%	16%	99.3	107.5	委託費(設備管理費、保安警備費、廃棄物処理費の合計)
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	¥331	¥228	¥337	101.7	147.5	利用者数 89,740人
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	¥314	—	¥307	97.8	—	
<p>【現状分析】 ○収入、支出ともに増加しているが、事業収支は76.2%であったため、収益率が前年度より低くなっている。</p> <p>【課題】 ○利用料金収入が増加しているものの指定管理料への依存度が高くなっている。 ○利用人数が増加したが、利用者一人あたりの管理コストが増加している。今後も施設リニューアルに伴い管理コストは増加する見込みであるため、コロナ収束後は利用者増加につながる広報活動を積極的に行って行く必要がある。</p>						

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

評価(③財務状況)

A

【評価基準(③財務状況)】

収益率(事業収支/収入合計)

A: 0%以上

B: -5%以上、0%未満

C: -5%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	○コロナ収束後に安全に開催できるイベント・体験教室などを実施し、施設の認知度向上と利用料金の増加につなげていく。 そのための広報活動も併せて行っていく。
----------------------------------	---

※「Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。 また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものなのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	備考	
成果指標	①利用状況	利用者数	141,784	141,784	141,784	141,784	新型コロナ収束後を想定して平成29～令和元年度の平均値を目標に設定し、A評価(100%以上)目標とする。
	②満足度	満足度	80%	80%	80%	80%	A評価(80%以上)を目標とする。
財務指標	③財務状況	収益率	0%	0%	0%	0%	収支計画を適切に見込み、A評価(0%以上)を目標とする。

2. 評価結果

評価項目	評価指標	R2実績	事業計画 (目標値)	R3実績	R3実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	R4 目標値	
					前年比	計画比					
成果指標	①利用状況 P5転記	利用者数	88,233	141,784	89,740	101.7	63.3	【現状分析】 春夏に休園等の影響はあったものの、11月以降は、キャンプ場等の利用制限の緩和があったため昨年度より利用者が微増。 【課題】 新型コロナ感染収束後の来場者数増加のため積極的な広報活動が必要である。	C	○利用者は施設利用制限の緩和により回復しつつある。新型コロナで全ての体験教室やイベントが中止となった。感染収束後は積極的な広報活動を実施し、人の呼び戻しを行う必要がある。	B
	②満足度 P12転記	満足度	91%	80%	95%	104.4	118.8	【現状分析】 利用者は微増したが、アンケート回収数が減少した。(アンケート回収状況)維持管理等 44件(R2年度52件、R1年度100件) イベント 0件(R2年度0件、R1年度61件) 【課題】 イベントに関するアンケートは小規模であっても極力回収できるようにする。リニューアル中の施設オープン後はアンケートの内容変更が必要となってくる。	S	○多くの利用者の声を把握し、施設のサービス向上に繋げるため、アンケートの回収率を上げるよう手法を検討する。 ○教室やイベント参加者の満足度は非常に高いため、積極的に自主事業を実施し施設をPRすることで集客に繋げる。	S
財務指標	③財務状況 P14転記	収益率	4.2%	0.0%	3.1%	74.1	0.0	【現状分析】 ○収入、支出ともに増加しているが、事業収支は76.2%であったため、収益率が前年度より低くなっている。 【課題】 ○利用料金収入が増加しているものの指定管理料への依存度が高くなっている。 ○利用人数が増加したが、利用者一人あたりの管理コストが増加している。今後も施設リニューアルに伴い管理コストは増加する見込みであるため、コロナ収束後は利用者増加につながる広報活動を積極的に行っていく必要がある。	A	○コロナ収束後に安全に開催できるイベント・体験教室などを実施し、施設の認知度向上と利用料金の増加につなげていく。 そのための広報活動も併せて行っていく。	A
活動指標	④重点取組事項	利用促進及び経営安定を図るため、自主事業を積極的にを行う。	230,512	600,000	475,980	206.5	79.3	【現状分析】 昨年度に引き続き、コロナ感染対策によりイベントを全て中止したため、備品貸出のみの実績値である。 【課題】 コロナ収束後は感染対策を行った上でイベントを再開し、経営安定を図る。	C	○コロナ収束後に向けた広報活動を積極的に行い、イベントで認知度をアップさせることで経営安定化を図る。	B
総合評価								B			

※「現状分析・課題」「取組改善案」は6-I～IIIから転記する。

※「R3目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

※新型コロナ環境下の中、施設の利用制限が長引いたため(R3.4月～10月)、総合評価は低くなる。

参考：評価基準

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A：0%以上

B：-5%以上、0%未満

C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S：目標を大きく上回る

A：目標を概ね達成

B：目標を下回る

C：目標を大きく下回る

【総合評価基準】

	総合評価基準	
S	40点以上	かつ各評価項目において C評価がないこと
A	25点以上	
B	10点以上	
C	5点以下	

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

労働条件等自主点検表

施設名称	沖縄県民の森	対象年度	令和3年度
指定管理者名	沖縄北部森林組合		

※ 以下の確認事項に従い、指定管理者による確認結果欄の該当する箇所に○を付け、記入が必要な箇所については記入願います。

確認事項	指定管理者による確認結果						
<p>1 労働条件の明示 労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。</p> <p>労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職（解雇の事由を含む。）については、書面を交付しなければなりません [労働基準法（以下「法」といいます。）第15条]</p>	就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない		
	1	2	3	4	5		
	（3～5については、改善が必要です）						
<p>2 就業規則 就業規則（労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職（解雇の事由を含む。）等、労働条件の具体的細目を定めた規則）を作成していますか。また就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。</p> <p>常時10人以上の労働者（パートタイム労働者を含む。）を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません（法第89条） また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません（法第106条）</p>	常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である					
		作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない		
	1	2	3	4	5		
	（3～5については、改善が必要です）						
<p>3 所定休日 所定休日をどのように定めていますか。</p> <p>休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません（法第35条）</p>	週休2日制		週休1日制		その他		
	完全（毎週）	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下
	1	2	3	4	5	6	7
	（7については、改善が必要です）						

4 年次有給休暇
年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。

年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません(法第39条)

法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です)

※年次有給休暇の法定の付与日数表(週所定労働日数が5日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。)

勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。

5 健康診断
定期健康診断を実施していますか。

常時使用する労働者については、年1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生法第66条)。
なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生規則第45条)

毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない
①	2	3

(2、3については、改善が必要です)

6 最低賃金
地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。

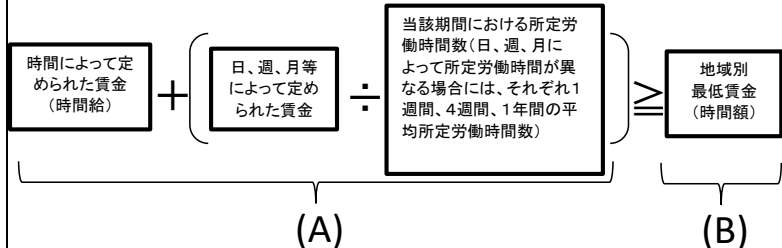
なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。

- ① 臨時に支払われる賃金(結婚手当等)
- ② 1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等)
- ③ 所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金
- ④ 精皆勤手当、通勤手当、家族手当

支払っている	支払っていない
①	2

(2については、改善が必要です。)

【支払う賃金(A)と地域別最低賃金(B)の比較方法】



7 割増賃金
時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。

法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働(午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。)については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません(法第37条)。

※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。

時間外労働・深夜労働について

2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

休日労働について

3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

8 雇用保険の加入について

確認事項	従業員数	うち雇用保険 加入従業員数	うち雇用保険 未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の雇用保険加入状況	10	9	1

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の雇用保険加入に関する取組	加入手続き保険料の納付は当組合で事務手続きを行っている。

確認事項	未加入とする理由
従業員に雇用保険未加入者がいる場合の未加入理由	別の会社で加入している。

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(平成31年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

9 健康保険・厚生年金保険の加入について

確認事項	従業員数	うち健康保険 加入従業員数	うち健康保険 未加入従業員数	うち厚生年金保険 加入従業員数	うち厚生年金保険 未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の健康保険・厚生年金保険加入状況	10	7	3	7	3

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の健康保険・厚生年金保険加入に関する取組	加入手続き保険料の納付は当組合で事務手続きを行っている。

確認事項	未加入とする理由
従業員に健康保険・厚生年金保険未加入者がいる場合の未加入理由	社会保険の加入条件を満たしていないため。

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(令和4年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。